

令和 4 年 度

2022年 4月 1日から

2023年 3月31日まで

事業計画書

大阪府中央区上町A番7号

公益財団法人 大槻能楽堂

令和4年度事業計画

当能楽堂は、ユネスコ無形文化遺産である我が国の舞台芸術「能楽」を広く一般に公開し、伝統芸能の振興及び文化・芸術の普及に寄与するため、当法人が企画した公演等上演し、また、所有する能舞台等を貸与する活動を行っています。

事業ごとの主な内容は以下のとおりです。

1. 能楽公演等事業

(1) 自主公演能事業

能の魅力を探るシリーズ（年6公演）

毎年テーマを定めてお送りする 能の魅力を探るシリーズ。今年度のテーマは「大槻文藏と読み解く能の名曲六選」です。

能と対談を基本とし、数公演に狂言を組み込みました。

これ迄と趣向を変えた対談は、大槻文藏が能楽研究者の天野文雄氏、演劇評論家の村上湛氏を交互にお迎えし、作品、作者、時代背景、また使用する面、装束、演出などを御紹介し、これまで以上に能の魅力を引き出し、より深く知っていただけの内容となっており、新しいお客様から能楽愛好者の方まで、幅広いお客様に楽しんでいただける公演になるべく、開催いたします。

開催日	演目	小書	シテ	対談
2022年4月23日	狂言 昆布売		善竹忠重	村上湛 大槻文藏
	能 通小町		梅若万三郎	
2022年6月25日	狂言 薩摩守		茂山忠三郎	天野文雄 大槻文藏
	能 三山		武富康之	
2022年8月27日	狂言 二千石		茂山七五三	村上湛 大槻文藏
	能 楊貴妃	干之掛 台留	浅井文義	
2022年11月26日	能 清経	恋之音 取	上野雄三	天野文雄 大槻文藏
2022年12月17日	狂言 金藤座衛門		善竹隆平	村上湛 大槻文藏
	能 阿漕		友枝昭世	
2023年2月23日	能 玄象	替之型 早装束 窠	観世清和	天野文雄 大槻文藏

企画公演 復曲再演の会（全1公演）

能は700年近い歴史の間に、約2000曲以上の作品が創られてきましたが、現在上演している多くは室町時代に創られた250曲ほどです。舞台芸術は様々な役者達が色々な角度から能を見つめ、永年に亘り再演を試み、曲が練り上げられていくもので、現代の観客の方々に作品や伝統継承の魅力を伝えるべく開催いたします。

開催日	演目	シテ・講師
2022年5月28日	お話「崇徳院の執念」	大森亮尚
	復曲能 松山天狗	赤松禎友

特別公演 ナイトシアター ろうそく能（全1公演）

毎年恒例のろうそくに火がともされた空間で能を鑑賞いただく人気公演。近年は他芸能ジャンルとのコラボ企画で開催。本年は、人間国宝に認定されました文楽の桐竹勘十郎氏をお迎えし、文楽「義経千本桜 二段目」と能「碓潜（いかりかずき）禅鳳による」にて、戦の無情さを、人形と能で表現します。

ろうそくの炎のもと、平家の終焉を堪能していただき、新しい観客層の確保につながる公演となるべく開催いたします。

開催日	演目	小書	シテ等
2022年7月8日	文楽 義経千本桜		桐竹勘十郎
	能 碓潜	禅鳳本による	大槻文藏

特別公演 至芸を観る（全1公演）

能楽の一流一派に取らわれず、人間国宝や名人名手を招聘し、すぐれた技芸を観る機会を創出する企画です。

能楽の見巧者だけではなく、初めて能楽を鑑賞する観客の方にも関西の地に於いて、能楽の至芸を観ていただく公演になるべく開催いたします。

開催日	演目	シテ・講師
2022年9月23日	お話「老いらくの恋」	中西進
	狂言 富士松	野村萬
	能 恋重荷	観世鍊之丞

特別公演七〇〇回記念公演（全1公演）

多くの皆さまの御支援を賜り、続けさせて頂いております自主公演能は、この回で七〇〇回を迎えます。歴史ある公演であることをアピールし、これからもご支援賜れるよう、七〇〇回記念公演に、相応しい能・狂言を上演します。

身近な地域の拠点劇場として、また文化発信の場として、大阪城・上町エリアの活性化、周辺の歴史的風致と一体となった魅力の普及・啓発に取り組むべく開催いたします。

開催日	演目	小書	シテ
2022年10月22日	能 三輪	白式神神楽	大槻文藏
	狂言 見物座衛門	深草祭	野村万作
	半能 石橋	大獅子	齊藤信隆 齊藤信輔

新春能（全2公演）

例年1月3日と4日に行われる新春能。関東、関西の能楽界を代表する名人が一挙に集い、新年を迎える目出度さを祝う二日間連続公演です。

恒例の「翁」にて天下泰平五穀豊穰を舞台で祈り、3日と4日で異なる流派の狂言、その他にも新春にふさわしい演目にて、名人達の至芸を存分に鑑賞していただく2日間。周辺地域にも認知頂いており、地域の活性化や、東西の能楽界第一線で活躍する能楽師を迎え、能楽界全体の活性化を促すべく開催いたします。

開催日	演目	小書	シテ
2023年1月3日	翁		片山九郎右衛門
	狂言 鎧		茂山千五郎
	能 猩々乱	双乃舞 置壺	上田拓司 浦田保親
2023年1月4日	翁		観世喜正 野村萬斎
	狂言 財宝		野村万作
	能 鶴亀		梅若実

企画公演 次世代が挑む（全1公演）

次世代を担う若手演者を中心とした企画。

当能楽堂は、設立当初より日本の古典芸能の粋を披露することを使命として活動してきました。そのため、熟練の演者による公演が多いです。若手育成、プロデュースも使命であると考え、後継者の育成を基本・基礎とした上で、継続性、伝承の確実性を重視し、次世代を受け持つ若手能楽師の発展と発表の機会を創出し、魅力を伝え、若い世代の観客確保につながる公演となるべく、開催いたします。

開催日	演目	小書	シテ
2023年3月20日	狂言 節分		野村祐基
	能 熊野		大槻裕一

(2) 学生鑑賞能事業

学生を対象に能楽鑑賞のほか、ワークショップ・体験教室などを併せて行います。本年度は年間4回程度行う予定です。

(清教学園高校・梅花高校・玉造小学校・明星大学)

(3) 委託公演能事業

1、恒例の有馬能楽堂で催す有馬能が、計2公演(能1公演、狂言1公演)の委託を請負、より多くの方に伝統芸能能楽に触れる機会を提供します。

2、国指定重要文化財である春日神社能舞台で催す篠山春日能(4月9日開催)などの公演の委託を請負、より多くの方に伝統芸術に触れる機会を提供しています。令和4年度は大槻文藏と大槻裕一の「二人静」、観世鍔之丞の「天鼓」の番組にて能楽にあまりなじみのない方にも、伝統芸術の良さ、楽しさを理解していただけるように行います。

2、三田屋心齋橋店内の舞台にて能楽公演1公演の委託を請負、より多くの方に伝統芸能能楽に触れる機会を提供します。

3、文化庁の「文化芸術による子供の育成事業(巡回公演事業)」は本年度も事前にワークショップ体験授業を行った上で、当日は下記公演内容で実施します。

①はじめての能楽 オープニング演奏・

能楽について(DVDで能楽入門/鑑賞・スクリーン使用)

②謡ってなあに?(謡に挑戦/能楽師と共演発表会)

③エア楽器でお囃子(はやし)体験!(囃子(はやし)解説/エア楽器体験)

④祈りの型に挑戦!!ワキ方の数珠体験

⑤クイズで生徒と共演!能でつかうあれこれ(能面・小道具・能の登場人物紹介)

⑥能楽を観てみよう ストーリー説明(スクリーン使用)

半能「安達原(あだちがはら)」鑑賞

今年度はA区分(単年度)の採択区分にてFブロックにて採択されており巡回致します。

上演は、体育館に特設の能舞台を組んで致し、感受性豊かな子供時代に日本の舞台芸術である伝統芸能「能楽」を知ること、将来の文化芸術に対する観賞力等が大きく向上することができればと考えています。

4、その他、下記公演等の受託を予定しています。

・四日市市民会館 会館40周年記念 四日市能(11月3日)

- (4) その他謡曲教室事業を、一般の方を対象に年1回、及び大阪府教職員互助組合の退職会員を対象に年4回(3カ月毎)、実施予定。

2. 能楽堂等貸与事業

(1) 能楽堂施設の貸与

伝統芸能「能楽」の振興及び普及を図るため、これを目的とする活動を行う団体や個人(この目的に賛同するものを含む。)に対して当法人が所有する能楽堂を貸与します。能楽の公演会場としては年間60回以上、稽古場としては年間180回以上の貸与予定です。しかし、能楽の公演に限ることなく、日本の様々な芸能の祖である能の本拠地「能舞台」を使用することでそのルーツを認識し、特色を活かせる芸能活動に対して積極的に貸与する予定です。

- (2) その他能面・能装束及び作り物の貸与事業を行います。

以 上